

笛吹川 (1960)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 123分
初公開日 1960/10/19

【解説】

深沢七郎の同名小説を木下恵介が脚色し監督した時代劇。戦国時代を舞台にしているものの、武将や合戦が中心ではなく、市井の人々を取り上げた異色作となっている。モノクロ映像に着色したパートカラーについては評価が分かれた。

甲斐国の笛吹橋のたもとに住む百姓のおじいは、孫の半蔵が合戦で手柄を立て、お屋形様である武田信虎のお役に立てたと大喜び。おじいはお屋形様の子の後産を埋める大役を仰せつかるが、御袍衣を血で汚し斬られてしまう。半蔵も戦で討ち死に、ミツは嫁ぎ先で焼き討ちにあうなど、次々と武田家に命を奪われていく。

【クレジット】

監督 木下恵介
製作 細谷辰雄
原作 深沢七郎
脚本 木下恵介
撮影 楠田浩之
美術 伊藤憲朔
江崎孝坪
音楽 木下忠司
出演 田村高広
高峰秀子
市川染五郎
岩下志麻
川津祐介
中村万之助
渡辺文雄
中村勘三郎
加藤嘉
織田政雄
松本幸四郎
山岡久乃